

中間市地域公共交通網形成計画推進事業の取り組みについて

1. 地域公共交通の課題

- (1) 中間市西部の公共交通空白地区への対策
- (2) 中間市東部の公共交通不便地への対策検討
- (3) 西鉄バス中間線をはじめとする路線バスの利用促進
- (4) 公共交通ネットワークとしての利便性向上による利用促進



2. 課題解決に向けた方策（平成 28 年度取り組み内容）

- (1) 公共交通不便地の解消
 - ①中間市西部の空白地へ新たな公共交通の導入
（なかよし号の運行 平成 28 年 10 月から運行開始）
 - ②中間市東部の高低差による不便地をサポートする移動手段の検討
（南校区アンケート調査 平成 28 年 10 月 3 日～10 月 19 日実施
及びモニタリング調査）
- (2) 交通まちづくりに対する市民の意識向上
 - ①交通まちづくりの周知
（公共交通マップの配布 平成 29 年 2 月印刷、3 月配布）
- (3) 公共交通ネットワークの強化



3. 地域公共交通の将来像（公共交通の方針）

体系的な交通ネットワークを整備するとともに、利便性の向上、交通環境の整備により周辺地域との交流及び都市内の円滑な移動を支えるネットワークの構築

【平成29年度の取り組み】

（1）公共交通不便地の解消

①中間市西部の空白地へ新たな公共交通の導入

なかよし号の利用実態の把握

⇒底井野校区アンケート調査及びモニタリング調査

②中間市東部の高低差による不便地をサポートする移動手段の検討

南校区アンケート調査及びモニタリング調査を基にした、中間南校区の住民を対象とした**住民座談会の開催**

⇒フレンドリー号等の運行計画等の見直しに向けて、住民の方からご意見を伺う。

（2）交通まちづくりに対する市民の意識向上

①交通まちづくりの周知（モビリティマネジメントの実施）

公共交通マップの配布に続き、路線バス沿線住民へのアンケート調査を実施し、公共交通への利用を促す。

⇒**モビリティ・マネジメントの実施**



地域公共交通のネットワーク化

4. 中間市地域公共交通まちづくりの目標に対する評価指標（H28 年度評価値）

	数値指標	単位	現況値	評価値 (H28 年度)	目標値 (H32 年度)
評価指標 ①	公共交通不便地 A の割合	%	32.4 (H26)	10.3	12.9
評価指標 ②	公共交通不便地 B に対する公共交通サービスの確立				
	①コミュニティバスの 1 便あたりの利用者数	人/便	0.91 (H27)	1.02	2.0
	②コミュニティバス利用者 1 人への市の負担金額	円/人	1,495 (H27)	1,308	569
	③中間南校区地区住民（65 歳以上）のお出かけ回数の増加	回/週	3.3 (H26)	3.6	3.4
	④公共交通利用割合の増加	%	20 (H26)	6.4	22
評価指標 ③	過去 1 年間における公共交通の乗り継ぎ利用をしていない割合	%	65.3 (H27)	-	60.0
評価指標 ④	底井野校区地区住民（65 歳以上）のお出かけ回数の増加	回/週	2.6 (H27)	-	2.8
評価指標 ⑤	路線バスの利用者数	人/日	500 (H26)	450 (H27.10~H28.9)	500

※現況値の数値あとのカッコ書きの年次は、現況値の評価年次を示す。

【参考】中間市の公共交通まちづくりに向けた施策の概要と実施スケジュール

(1) 実施施策の概要 ※中間市地域公共交通網形成計画抜粋

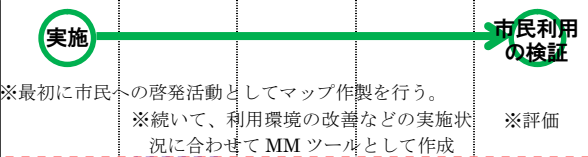
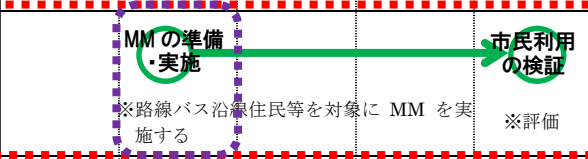
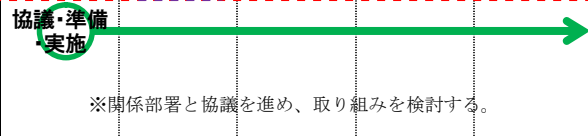
▼中間市の公共交通まちづくりに向けた施策の概要

方 策	実施施策の概要
公共交通不便地の解消	①中間市西部の空白地へ新たな公共交通の導入 <ul style="list-style-type: none"> ●公共交通不便地である底井野校区へ公共交通を導入する。
	②中間市東部の高低差による不便地をサポートする移動手段の検討 <ul style="list-style-type: none"> ●南校区コミュニティバスを検証することで、高低差による公共交通不便地の改善を検討する。
中間市の公共交通ネットワークの強化	①乗継拠点における乗継ダイヤの改善 <ul style="list-style-type: none"> ●公共交通のネットワークとしての一体性を高め、各拠点へのアクセスの利便性向上や拠点間の連携強化のため、交通結節点での乗り継ぎに配慮したダイヤを検討する。
	②- 1 乗継環境の改善（拠点バス停のバス待ち環境の向上） <ul style="list-style-type: none"> ●乗継の拠点となるバス停において、バスを待つ環境の向上を検討する。
	②- 2 乗継環境の改善（乗継拠点駅におけるバス情報の充実） <ul style="list-style-type: none"> ●バス利用者がバスを利用するときに必要な情報を、手軽にわかりやすく提供し、利便性向上を図る。
	②- 3 乗継環境の改善（IC カードの利用促進） <ul style="list-style-type: none"> ●nimoca 及びSUGOCA カードの利用環境拡大による利便性向上を図り、都心部での利便性向上や公共交通利用促進をめざす。
	②- 4 乗継環境の改善（バス接近情報の提供） <ul style="list-style-type: none"> ●いつバスが来るかわからないという心理的抵抗感を軽減することで利用促進をめざす。
	②- 5 乗継環境の改善（移動環境の改善） <ul style="list-style-type: none"> ●ノーマライゼーションの理念に基づき、公共交通利用環境の改善をめざす。
	③他分野との連携等による地域全体で公共交通を支えるしくみづくり <ul style="list-style-type: none"> ●地元企業との連携によって、公共交通の維持に向けた取り組みをめざす。
中間市の交通まちづくりに対する市民の意識向上	①- 1 交通まちづくりの周知（公共交通マップの配布） <ul style="list-style-type: none"> ●市民の公共交通への意識向上及び利用促進に向けて、公共交通まちづくりに関する情報提供を行う。
	①- 2 交通まちづくりの周知（モビリティ・マネジメントの展開） <ul style="list-style-type: none"> ●市民一人ひとりのライフスタイルに公共交通の利用が定着するよう、モビリティ・マネジメント※（MM）等の広報・啓発活動を行う。
	①- 3 交通まちづくりの周知（高齢者の免許返納施策） <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の免許返納に対して、公共交通の利用の支援策を検討する。

(2) 実施スケジュール ※中間市地域公共交通網形成計画抜粋

▼施策の実実施スケジュールと主な実施主体

方策 及び 具体施策	スケジュール					主な実施主体
	H28	H29	H30	H31	H32	
1. 公共交通不便地の解消	関係地区におけるモニタリングによる検証			見直し及び他地区への運用検討		
施策① 中間市西部の空白地へ新たな公共交通の導入	導入	住民アンケート	住民座談会	評価見直し		事業者、市
	※底井野校区への新たな公共交通導入とモニタリング結果による評価 ※見直し運行					
施策② 中間市東部の高低差による不便地をサポートする移動手段の検討	住民アンケート	住民座談会	評価見直し			事業者、市
	※南校区コミュニティバスのモニタリング結果による評価 ※見直し運行。および他地区への運用検討					
2. 中間市の公共交通ネットワークの強化	実施準備・実施期間				評価	
施策① 乗継拠点における乗継ダイヤの改善	協議・準備・実施				市民利用の検証	事業者、市
	※事業者と協議及び実施 ※適宜、ダイヤ見直し ※評価					
施策②-1 乗継環境の改善（拠点バス停のバス待ち環境の向上）	協議・準備・実施				市民利用の検証	事業者、市
	※事業者と協議及び実施 ※乗継改善の継続実施 ※評価					
施策②-2 乗継環境の改善（乗継拠点駅におけるバス情報の充実）	協議・準備・実施				市民利用の検証	事業者、市
	※評価					
施策②-3 乗継環境の改善（ICカードの利用促進）	実施				市民利用の検証	事業者、市
	※ICカード利用の促進に向けた情報発信に取り組む ※評価					
施策②-4 乗継環境の改善（バス接近情報の提供）	協議・準備・実施				市民利用の検証	事業者、市
	※西鉄バスと調整・検討を行う。 ※評価					
施策②-5 乗継環境の改善（移動環境の改善）	協議・準備・実施					事業者、市
	※バリアフリーまちづくりへの検討を進め、取り組めるところから実施する。					
施策③ 他分野との連携等による地域全体で公共交通を支えるしくみづくり	協議・準備・実施					事業者、市
	※公共交通まちづくりへの理解を事業者等へ図り、取り組めるところから実施する。					

方策 及び 具体施策	スケジュール					主な 実施主体
	H28	H29	H30	H31	H32	
3. 中間市の交通まちづくりに対する市民の意識向上	市民への啓発・取組み促進の期間			効果検証期間		
施策①-1 交通まちづくりの周知（公共交通マップの配布）						市民、事業者、市
施策①-2 交通まちづくりの周知（モビリティ・マネジメントの展開）						市民、事業者、市
施策①-3 交通まちづくりの周知（高齢者の免許返納施策）						市民、事業者、市

中間市地域公共交通会議スケジュール

		地域公共交通会議	運行	補助申請				
項目		地域公共交通会議開催 地域内フィーダー系統確保維持計画策定 地域公共交通網形成計画推進事業	運行事業者選定(底井野校区) 新しい地域公共交通の運行(底井野校区)	【国】調査事業(4月～3月) 【国】国庫補助(10月～9月) 【県】県単補助(10月～9月)	補助 年度 会計			
平成 28 年度	4月		運行事業者選定	運行 準備	平成 28 年度			
	5月	第1回交通会議(5.27) 確保維持計画承認、決算・予算案審議	運行申請					
	6月	プロポーザル審査委員会(6.30) 交通網計画推進事業委託業者の選定	交通網計画推進事業者選定					
	7月	第2回交通会議(7.22) 交通網計画推進事業協議						
	8月	第1回幹事会(8.16) アンケート調査票案等協議	停留所設置(底井野校区)					
	9月		底井野校区コミュニティバス出発式(9.30)					
	10月		年間運行実績(H27.10～H28.9) 底井野校区コミュニティバス運行開始予定(10.3)			運行	平成 29 年度	
	11月	第2回幹事会(11.21) アンケート調査結果案等報告						【国】H28フィーダー補助申請 【県】H27県単補助申請
	12月	第3回交通会議(12.21) 運行実績の報告、交通網計画推進事業協議	地域公共交通網形成計画推進事業の実施					
	1月		地域内フィーダー系統確保維持策					【国】H29調査事業要望
	2月	第4回交通会議(2.3) 確保維持計画案提示、交通網計画推進事業報告						
	3月							
平成 29 年度	4月			運行	平成 29 年度			
	5月	第1回交通会議(下旬) 確保維持改善計画承認、決算・予算案審議						
	6月							【国】確保維持改善計画申請 (H30～H32)
	7月							
	8月	第2回交通会議(中旬) 交通網計画推進事業協議						
	9月							
	10月							
	11月	第3回交通会議(中旬) 運行実績の報告、交通網計画推進事業協議	地域公共交通網形成計画推進事業の実施			年間運行実績(H28.10～H29.9)	【国】H29フィーダー補助申請 【県】H29県単補助申請	
	12月							
	1月		地域内フィーダー系統確保維持計画策定				【国】H30調査事業要望	
	2月	第4回交通会議(上旬) 確保維持改善計画案提示、交通網計画推進事業報告						
	3月							
平成 30 年度	4月			運行	平成 30 年度			
	5月	第1回交通会議(下旬) 確保維持改善計画承認、予算案審議						
	6月					【国】確保維持改善計画申請 (H31～H33)		
	7月							
	8月	第2回交通会議(中旬) 交通網計画推進事業協議						
	9月							
	10月							
	11月	第3回交通会議(中旬) 運行実績の報告、交通網計画推進事業協議	地域公共交通網形成計画推進事業の実施			年間運行実績(H29.10～H30.9)	【国】H30フィーダー補助申請 【県】H30県単補助申請	
	12月							
	1月		地域内フィーダー系統確保維持計画策定				【国】H31調査事業要望	
	2月	第4回交通会議(上旬) 確保維持改善計画案提示、交通網計画推進事業報告						
	3月							